

News Letter

May. 2018

大会テーマ

文化をつなぐミュージアム - 伝統を未来へ -

Museums as Cultural Hubs: The Future of Tradition

京都大会の目的：

博物館が伝統的な文化を活かしながら豊かな未来を創造する文化的な拠点として新たな機能を創出し、社会的な役割を果たすために何ができるか、何をすべきなのかを考えます。

① 国際的課題と博物館

災害や紛争、グローバル化、高齢化など、近年の世界規模の課題に、博物館はどのように貢献できるか？

② 地域コミュニティと博物館

都市や地域社会のなかで、博物館がどのような役割を果たすことができるのか？どのような可能性が秘められているか？

③ 博物館の定義と制度

これからの博物館や学芸員はどうあるべきか？その理念や特性を実現できる博物館・学芸員の制度とは？

大会日程

| | | | | |
|------------|---|-----------------------|-----------------------|---------------------------|
| 9/1 〈日〉 | 諮問会議 | 国内委員長・国際委員長会議 | | |
| 2 〈月〉 | 開会式 | 基調講演 | 各国際委員会のセッション | オープニング・パーティ (国立京都国際会館) |
| 3 〈火〉 | 基調講演・パネルディスカッション | 各国際委員会のセッション | ミュージアムフェア(展示会) | ソーシャル・イベント (二条城) |
| 4 〈水〉 | 基調講演・パネルディスカッション | 各国際委員会のセッション | ミュージアムフェア(展示会) | ソーシャル・イベント (北山エリア) |
| 5 〈木〉 | 各国際委員会等のオフサイト・ミーティング (京都、関西周辺の博物館、文化施設、大学など) | ソーシャル・イベント (岡崎エリア) | | |
| 6 〈金〉 | エクスカーショ (京都府・京都市内、関西一円、遠方) | | | |
| 7 〈土〉 | 全体総会 | 諮問会議 | 閉会式・パーティ (京都国立博物館) | |



基調講演



各国際委員会のセッション、
オフサイト・ミーティング



ソーシャルイベント



エクスカーショ

ICOM 京都大会事務局では、大会成功に向けた各種会議の開催、また大会への機運を高めるための各種講演会や、ワークショップ等を開催しています。本ニュースレターでは、2017年度の取り組みの一部をご紹介します。

1. Meetings

京都大会に向けた主な会議

主要な動き

2017年（平成29年）

- 4月1日 ICOM 京都大会準備室設立
- 4月18日 第1回 ICOM 京都大会運営委員会
- 5月17日～22日 ICOM 幹部来日
- 5月21日 国際博物館の日 記念シンポジウム
PCO 審査、決定
- 6月7日～9日 ICOM 総会、諮問委員会（パリ）
ICOM 本部との打ち合わせ
- 8月26～31日 国際委員会窓口担当者勉強会
- 10月6日 第3回 ICOM 京都大会組織委員会
- 10月30日 ボランティアチーム第1回会議
- 12月8日 ICOM 執行役員会、本部との打合せ

2018年（平成30年）

- 3月10日 第2回 ICOM 京都大会運営委員会
国際委員会年次大会報告会
- 3月11日 開催地ミュージアムへの説明会
開催地ミュージアム×国際委員会窓口
担当者交流会
- 3月16日 第1回学術・研究チーム会議
- 4月12日、13日 ICOM 本部事務局 会場視察、打合せ
- 5月19日 国際博物館の日 記念シンポジウム

6/7-9 | 第32回 ICOM 総会、第83回 ICOM 諮問会議（パリ・ユネスコ本部）



日本からは、佐々木組織委員長、青木保 ICOM 日本委員長をはじめ14名が参加。諮問会議では、佐々木組織委員長が京都大会の準備進捗状況についてプレゼンテーションを行いました（写真左）。

2018 3/10 | 第2回 ICOM 京都大会運営委員会



▲運営委員会の様子（京都国立博物館にて）

各国際委員会の連絡担当者が、担当する委員会の年次大会への参加報告を行いました。続く運営委員会では、栗原運営委員長から平成29年度の主な事業報告と京都大会の準備状況等の説明があったほか、来年度事業（国際博物館の日記念シンポジウム、舞鶴ミーティング2018など）についても情報共有がなされました。

4/1 | 準備室設立

京都国立博物館内に、京都大会準備室を設立しました。



4/18 | 第1回 ICOM 京都大会運営委員会

京都国立博物館にて開催。京都大会の運営に欠かせない有識者や各国際委員会の担当で構成された委員が出席し、委員会の組織体制や今後の予定について確認しました。



▲京都国立博物館にて、開会の挨拶を行う佐々木委員長

5/17-22 | ICOM 幹部来日

ICOM スアイ・アクソイ会長、アルベルト・ガランディニ副会長、インキョン・チャン執行役員とピーター・ケラー事務局長の ICOM 幹部が来日し、京都市内各所を視察。また、21日には PCO（運営オーガナイザー）の審査を行い、(株)コングレを選出しました。

ボランティアチーム、 学術・研究チームが活動を始動！

京都大会運営委員会の中には、有識者を中心にボランティア、学術・研究、広報などのチームが設置されています。2017年10月30日には「ボランティアチーム」が、また2018年3月16日には、「学術・研究チーム」がそれぞれ第1回目の会合を開催。京都大会の成功に向けて、今後も継続的に活動していきます。



▲学術・研究チームの会合の様子（東京国立博物館にて）

2. Events

これまでに開催したイベント

5/21 | 国際博物館の日 (IMD) 記念シンポジウム、ワークショップ



京都国立博物館にて開催。シンポジウムの第1部では、ICOM アクソイ会長、チャン執行役員、ケラー事務局長、ガランディーニ 副会長による基調講演の後、特別講演として、毛利衛 日本科学未来館長が「世界科学館サミット 2017 について」と題して講演を行いました。第2部では、2017年の国際博物館の日のテーマ「歴史と向き合う博物館—博物館が語るものは」について、第1部の登壇者と吉田憲司 国立民族学博物館長、久留島浩 国立歴史民俗博物館長、東自由里 京都外国語大学教授がパネルディスカッションを行いました。また前日の5月20日には、ICOM 京都大会運営委員会メンバーを対象としたワークショップを開催。ディスカッションを通じて、ICOM 幹部と参加者が活発な意見交換を行いました。

9/18 | 「ユネスコ勧告を読み解く」 ワークショップ



▲林菜央氏(中央)と参加者

ミュージアムとコレクションの保存活用などについての具体的な言及があるユネスコ勧告(2015年に採択)についての理解を深めるため、ユネスコ文化セクター・ミュージアムプログラム主任で、同勧告の起草段階から関わってきた**林菜央氏**を招聘し、ワークショップを開催しました。

11/17 | ICOM ミュージアム・カフェ

世界科学館サミット(2017年11月15日~17日、日本科学未来館にて)の開催に合わせて、アクソイ会長が来日した機会をとらえ、関東圏のミュージアム関係者との交流会を開催し、43名の参加がありました。ICOM 京都大会の内容とその意義について共有するだけでなく、館種を超えて参加者が交流を深める貴重な機会となりました。

▲アクソイ会長とディスカッションする参加者▶



▲テーブルごとに分かれて、ICOM大会の関連プログラム案について話し合った。スウェイン氏(写真左)も議論に加わった。

2018 3/11 | 開催地ミュージアムへの京都大会説明会 開催地ミュージアム × 国際委員会窓口担当者 交流会

午前中は、京都大会準備室による説明会を開催。京都府内・市内のミュージアム関係者30人超が参加し、ICOM 京都大会の概要や京都大会での地元開催地ミュージアムの関わり方について、準備室スタッフが説明しました。午後には開催した交流会では、京都地域のミュージアム関係者と国際委員会の窓口担当者が集まり、和気あいあいとした雰囲気の中、ワークショップ形式で交流を深めました。

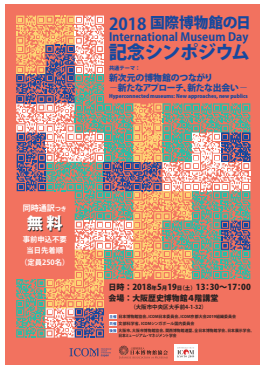
館種を超えたつながりが生まれる場となった▶



9/22, 23 | 「イギリスにおける文化政策動向とオリ ンピック文化プログラム」ワークショップ・講演会

ICOM 京都大会および2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム実施に向けて、世界的に文化政策で有名なアーツカウンシル・イングランド博物館事業総括責任者代理のヘドリー・スウェイン氏を招聘しました。22日のワークショップでは、スウェイン氏から、2012年のロンドンオリンピック文化プログラムを監督した経験に基づいたレクチャーがあり、その後、オリンピックやICOM 京都大会での文化プログラムについて、参加者が具体的なアイデア出しを行いました。





大阪歴史博物館にて、記念シンポジウムを開催しました。第1部では、海外から専門家を招き、ICOM 執行役員・ザンビア：ニャンベ氏、ICOM ポルトガル委員長：リベイロ氏、シンガポール・ナショナル・ヘリテージ・ボード：タン氏が、基調講演を行い、各国におけるミュージアム情勢等について詳細な報告を行いました。

第2部では、「新次元の博物館のつながり」をテーマに、日本のミュージアム関係者4名と基調講演者3名によるパネル・ディスカッションを実施。会場からの質疑もあり、SNS等のメディアの活用事例やその運用形態等について、具体例も交えながら意見交換・課題の共有が行われました。

これからの主なイベント、会議等

2018年（平成30年）

- 6月6日～8日 ICOM 総会、諮問会議（パリ）
ICOM 本部との打ち合わせ
- 9月30日 **ICOM 舞鶴ミーティング 2018**
- 10月1日 国立京都国際会館ほか会場視察
- 11月28日～30日 第60回全国博物館大会（東京）
- 11月30日～12月3日 ICOM ASPAC（九州国立博物館）

【予告】9/30 | ICOM 舞鶴ミーティング

ICOM 京都大会の開催を1年後に控えた**9月30日（日）**、舞鶴にてプレ・ミーティングを開催します。京都大会のテーマ「文化をつなぐミュージアムー 伝統を未来へ」に関わる研究や事例発表を国内外から募集し、京都大会における議論の先駆けとします。



【研究発表募集中！ 締め切り 2018年6月30日】

次の2つのカテゴリーで発表者を募集しています。発表時間は1人あたり10～15分、英語または日本語での発表です。

- カテゴリー① 「国際的課題とミュージアム」
- カテゴリー② 「地域コミュニティとミュージアム」

詳しくは、京都大会ウェブサイトをご覧ください。

お知らせ

パンフレットができました！



京都大会の概要や日程、大会テーマを載せたパンフレットを作成しています。京都大会に興味をお持ちの方やご参加を考えている方、ICOM への入会を検討中の方など、幅広い方にお手に取っていただければと思います。ご入用の方はICOM 京都大会準備室まで、ご希望の宛先・部数をお知らせください。

協賛・寄附のご案内

ICOM 京都大会は、博物館の専門家だけでなく、「博物館」を支え、「文化」に貢献されている、あらゆる業種・分野の企業・団体の皆さまのご協力があってはじめて実現します。この意義深い国際大会を成功に導いていただくとともに、歴史的な大会に皆さまのお名前を刻んでいただきますようお願い申し上げます。協賛・寄附に関して詳しくは、京都大会のウェブサイトをご覧ください。

ICOM 会員になりませんか？

ICOM 会員になると、雑誌『ICOM NEWS』等での情報が入手できるほか、会員証によるICOM 加盟館への優待入館、国際委員会への参加等の特典が受けられます。会員種別は、個人会員（正会員、学生会員）、団体会員、賛助会員等があります。お申し込み・お問合せは、**ICOM 日本委員会事務局**（TEL: 03-5832-9108 Email: icom@j-muse.or.jp）まで。



京都大会ウェブサイトはこちら！
<http://icom-kyoto-2019.org/jp/>